

令和5年度

社会福祉法人新地町社会福祉協議会 事業報告書

本会では、「住み慣れた地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり」を目指して、地域や関係機関、行政と連携しながら、社会的孤立や経済的困窮などの生活課題に向き合い、各種事業に取り組みました。

そのような中で、地域福祉の充実では、民生児童委員協議会やボランティア団体との協働、老人クラブ活動育成、いきいきサロン活動助成、福祉関係団体の育成援助、学校と連携した福祉教育、生活支援体制整備事業、心配ごと相談事業等を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて失業や減収した方を対象とした生活福祉資金特例貸付については、令和5年から償還が始まっており、借入者の生活状況に寄り添った相談対応など、継続的な支援が求められています。

また、今年度は、物価高騰による生活への影響を考え、地域住民や団体から寄附を受けた食料品や福島県共同募金会の助成事業を活用し、「食料品無料配付事業」を2回実施しました。

在宅福祉サービスの推進では、介護保険事業として訪問介護事業・居宅介護支援事業の運営を行ったほか、福祉用具の貸出、要援護高齢者等の外出支援サービスを通じて、高齢者や障害者の在宅生活を支援しました。さらに、民生委員の協力により実施しているひとり暮らし高齢者給食サービスについては、高齢者が安心して地域で生活するための見守りの一助となっているほか、今年度は、集合サービスや高齢者世帯・ひとり暮らし高齢者世帯合同交流会を通して、社会参加や地域との交流を深める事業にも積極的に取り組みました。

1. 組織体制の充実と自主財源の確保

(1) 会議開催等

理事会4回、評議員会3回開催し、25件の議案について審議した。監査会は事業部門及び経理部門を精査し、適正に処理されていることが確認された。

(2) 連携強化

行政区長、民生児童委員協議会及び福祉団体、ボランティア団体等との連携を密にし、組織の充実に努めた。

(3) 財源基盤の強化の推進

社会福祉協議会の事業運営は、町からの補助金と会員の会費によって行っている。行政区長のご協力をいただき、全戸会員を目指し募集にあたった。

① 会 費

会員区分	金 額	内 訳
一般会員	2, 2 5 3, 0 0 0 円	1,000円×2,253戸
特別会員	3 0 5, 0 0 0 円	10,000円×2名、5,000円×45名、議会議員互助会
法人会員	7 5 0, 0 0 0 円	30,000円×4社、20,000円×2社、10,000円×59社
合 計	3, 3 0 8, 0 0 0 円	

② 寄附金

件数	金 額
1 0	5 9 1, 5 0 0 円

2. 地域福祉の充実

(1) 地域福祉事業の推進

① 民生児童委員協議会やボランティア団体との協働活動の強化

ア 民生児童委員協議会の開催

民生児童委員並びに主任児童委員の職務を円滑に遂行するため、毎月協議会例会を開催し、情報の共有と研修を行った。

●民生児童委員協議会の状況

民生児童委員	主任児童委員	合計
2 3 人	2 人	2 5 人

●民生児童委員の活動状況

相談・支援	訪問	連絡調整	活動日数
103件	4,945回	2,022回	3,522日

イ 民生児童委員協議会との協働活動

高齢者の状況に応じたサービスの提供と、緊急時に対応するため民生児童委員からの「高齢者福祉票」によりその把握に努めた。

●高齢者福祉票の状況（対象者：70歳以上）

区 分	R5. 3. 31 (世帯)	増減	R6. 3. 31 (世帯)
高齢者世帯	9 5	- 3	9 2
ひとり暮らし高齢者世帯	1 6 3	- 1	1 6 2
合 計	2 5 8	- 4	2 5 4

ウ 戸別訪問による見守り活動

時期：令和5年7月～8月

対象：高齢者世帯96世帯

ひとり暮らし高齢者世帯164世帯

内容：民生委員と社会福祉協議会職員が熱中症の注意喚起を行いながら戸別訪問を実施。

時期：令和5年10月～令和6年3月

対象：高齢者世帯95世帯

ひとり暮らし高齢者世帯167世帯

内容：社会福祉協議会職員が見守りおよび生活状況の確認を行いながら戸別訪問を実施。

② 老人クラブ活動育成

高齢者の生きがいと健康づくりのために、地域の老人クラブの果たす役割は大きい。そこで、町老人クラブ連合会及び単位老人クラブが行う活動の充実と発展を図るため、老人クラブ指導員1名を配置して老人福祉の増進に努めた。

●単位老人クラブ数

13クラブ

●クラブ会員数

(単位：名)

令和4年4月1日			令和5年4月1日			増減
男	女	計	男	女	計	
223	309	532	233	306	539	+7

③ いきいきサロン活動助成

地域において参加者が主体となって自主的に運営し、仲間づくりの輪を広げたり、社会参加を促進したりしている地域のつどいの場（いきいきサロンの運営を支援することにより、地域福祉活動の推進を図った。

●いきいきサロンの状況

21団体 助成額503,789円

自主的に運営し、閉じこもりの防止と生きがいづくりに努めた。

開設地区

〔 沢口 鉄炮町 大山田 明地 中里 木崎 作田 上真弓 下真弓 岡 杉目
新地町 高齢者共同住宅 雁小屋 大戸浜 今泉 菅谷 高田 駒町 富倉 〕

④ 福祉関係団体の活動助成

福祉団体に対し、活動費の助成及び事務的援助を行った。

10団体 助成額230,000円

⑤ 社協だより「まごころ」の発行、ホームページの活用

社協だより「まごころ」を3回発行した。ホームページを用いた活動報告及び情報提供に努めた。

⑥ 生活資金に関する相談支援、貸付状況

●生活資金に関する相談支援

15件

●生活資金の貸付状況

・生活援助資金（新地町社会福祉協議会）

2件 150,000円

・生活福祉資金（福島県社会福祉協議会）

0件

●生活困窮者自立支援事業（福島県社会福祉協議会）

地域連絡協議会 1回

支援調整会議 2回（対象者 5名）

持ち回り会議 2回（対象者14名）

⑦ 心配ごと相談所事業の推進

町民の日常生活上の悩みごと相談に応じ適切な助言を行うため、相談員8名の交代制により、相談所を毎月3回開設した。相談内容も複雑多様化しているため、弁護士による無料相談会を3回開設した。

●心配ごと相談

相談者 7名 相談件数 7件（家族関係、住宅、借金について）

●弁護士無料相談会

相談者 7名 相談件数 7件（相続、借金について）

⑧ 介護教室の開催

実施日 令和5年9月14日

対象者 尚英中学校3年生（63名）

内容 高齢者疑似体験

車椅子の介助方法について学ぶ

⑨ 健康福祉まつりにおける広報活動

開催日 令和5年11月26日

内容 視覚障がい者の生活補助用具展示、パラスポーツ「ボッチャ」体験

(2) 生活支援体制整備事業の推進（新地町委託事業）

高齢者が住み慣れた地域で支え合い安心して暮らせる地域づくりを目指し、生活支援コーディネーターがいきいきサロンや地域を訪問し、ご近所同士の支え合い活動を支援した。そのなかで、充実した活動を掲載した「いきいき通いの場かわら版」を年4回作成し配付することで、情報の発信と地域活動の促進に努めた。

また、11月には、笑いヨガティーチャーの蛭田登子氏を講師に招き、「笑い与健康について」と題した講演会を実施し80名が参加した。

年度末には、「地域で元気に活躍されているご長寿」の特集など地域活動の様子を盛り込んだ「ご近所支え合いガイドブック」を作成し、全戸配布することで地域支え合いの「見える化」「見せる化」に取り組むとともに、地域で元気に活動している「いいね！グループ」4団体を顕彰した。

【令和5年度いいね！グループ】

- ・ 沢口（沢口ふれあい会）
- ・ 中島（中島マーガレット会）
- ・ 雁小屋（雁小屋たんぼぼクラブ）
- ・ 菅谷（菅谷なかよし会）

3. 在宅福祉サービスの推進

(1) 高齢者福祉事業

① 介護保険制度に伴うサービスの提供

ア 居宅介護支援事業（ケアプランの作成）

要介護1～5	
実利用者数	54人
延べ取扱件数	473件

イ 訪問介護事業（身体介護・生活援助）

	要介護1～5		備 考
	実利用者数	延べ回数	
身体介護	9人	2, 139回	
生活援助	10人	502回	洗濯、清掃、買物等
身体生活	1人	20回	介護と家事の複合型

ウ 総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

	要支援1～2		備 考
	実利用者数	延べ回数	
身体介護	0人	0回	
生活援助	9人	312回	洗濯、清掃、買物等

② ひとり暮らし高齢者給食サービス事業の実施

おおむね70歳以上のひとり暮らし高齢者で民生児童委員を通して高齢者福祉票が提出されている方を対象に給食サービス事業を実施した。

ア 配食サービス

民生児童委員の協力により昼食を自宅に届けることにより、定期的かつ継続的な見守りを行った。

年間配食回数	36回(月3回)	2,707食
--------	----------	--------

イ 集合サービス(ふれあいのつどい)

実施日 令和5年12月22日

対象者 福祉票提出の70歳以上のひとり暮らし高齢者 165世帯

参加者 38名

内容 鳥の海ふれあい市場での買い物と田園山元店で食事会を実施

③ ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯合同交流会の実施

実施日 令和6年3月25日

対象者 福祉票提出の70歳以上のみの高齢者世帯 93世帯

福祉票提出の70歳以上のひとり暮らし高齢者 161世帯

参加者 67名(ボランティア会5名の協力含む)

内容 創作和太鼓集団「風雲乱打舞」

民話語り「新地語ってみっ会」

④ 福祉用具貸出事業

本会が有する物品の有効活用を図り、地域福祉の向上に資することを目的に福祉用具等の貸出を行った。

ア 介護福祉用具

車イス利用者数 16名

ギャッジベッド利用者数 5名

イ 地域福祉用具

レクリエーション用具等を地域団体やサロン等に貸出した(46回)

⑤ 新地町要援護高齢者等外出支援サービス事業(新地町委託事業)

外出支援サービス事業	利用者 1名	回数 5回
------------	--------	-------

(2) 障がい者福祉事業

① 身体障がい者福祉協会、手をつなぐ親の会事業への協力

ア 新地町身体障がい者福祉協会

身体障がい者の福祉増進を図るため、県身体障がい者福祉大会への参加、県グラウンドゴルフ大会、レクリエーション交流会、障がい者就労施設見学（はらから福祉会・えいむ亘理）などの事業を支援した。

イ 新地町手をつなぐ親の会

心身障害児者の福祉増進を図るため、会員間の交流を支援した。

4. 福祉ボランティアの町づくり事業の推進

(1) 奉仕活動啓発推進

① ボランティア団体の育成・支援

ボランティア連絡協議会事業への協力支援

② 情報、資料の提供、ボランティア活動保険への加入促進

ボランティア活動保険の加入状況

令和4年度加入者	令和5年度加入者	増減
523名	318名	-205名

5. 共同募金・日本赤十字活動の推進

(1) 共同募金、歳末たすけあい運動及び募金活動の推進

① 共同募金、歳末たすけあい運動の実績

募金項目	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
赤い羽根共同募金	1,300,000	1,391,436	107.03
歳末たすけあい運動	1,150,000	1,168,001	101.56

② 歳末たすけあい募金配分事業

●見舞金の贈呈

配分対象	対象世帯	単価(円)	金額(円)
(1) 在宅重度障害者で下記に該当する方 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級	42	5,000	210,000
(2) 在宅で要介護3以上の高齢者を介護している方	34	5,000	170,000
(3) 準要保護児童生徒就学援助費を受給している世帯(保護者)	36	2,000	72,000
(4) 世帯全員が70歳以上の高齢者のみの住民税非課税世帯	49	3,000	147,000
(5) 70歳以上のひとり暮らし高齢者で非課税世帯	120	3,000	360,000
合計	281		959,000

●町内福祉施設への配分

町内7カ所の福祉施設へ日用品を贈呈

●生活困窮者支援としてフードバンクの提供

① 通年 14件

② 食料品無料配付事業の実施

実施日 令和5年7月17日(29世帯)

令和6年2月18日(33世帯)

※福島県共同募金会 生活困窮者への緊急支援活動助成事業

(2) 赤十字思想の普及と社員増強運動の推進

日本赤十字社費の実績

募金項目	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
日赤社資運動	1,189,000	1,150,500	96.76

6. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

判断不十分な方への福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス・書類等の預かりサービス及び生活全般にわたる相談・助言の提供。

相談・援助件数	24件
利用者数	1名

7. 東日本大震災による被災者の支援

福島県社会福祉協議会より委託を受け、生活支援相談員2名を配置し、防災集団移転団地・災害公営住宅・自主再建世帯等への全戸訪問を定期的に行い、被災者の生活相談に応じた。必要に応じて、保健・福祉関係者及び行政との連携を図り状況把握に努め、孤立防止等の支援を行った。

見守り・相談支援世帯数

(令和6年3月31日現在)

	世帯数	うち65歳以上の世帯数	入居者数(名)
公営住宅	3	1	11
災害公営住宅	100	55	206
自主再建した住宅・アパート	245	170	728
避難先で自主再建した住宅・アパート	56	24	179
合計	404	250	1,124

8. 福祉サービスに関する苦情解決体制

福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利擁護と適切な利用を支援するとともに、苦情に対して社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で円滑、円満な解決を推進し事業所への信頼や適正性の確保を図ることを目的に苦情解決体制を整え対応している。(令和5年度苦情等件数：2件)

新地町社会福祉協議会が事務局を担当する団体

1. 老人クラブ連合会
2. 身体障がい者福祉協会
3. 手をつなぐ親の会
4. 戦没者遺族会
5. 民生児童委員協議会
6. ボランティア連絡協議会
7. 赤十字奉仕団
8. 日本赤十字社福島県支部新地町分区
9. 新地町共同募金委員会